

第 3 回 館山市議会定例会会議録
(第 5 号)

1 昭和60年9月27日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 神田 守隆
3 番 山中金治郎
5 番 川名 正二
7 番 榎本 春光
9 番 福原 勤
11 番 飯田 義男
13 番 石井 昌治
15 番 渡辺 昭夫
17 番 近藤 好雄
21 番 吉田勇治郎
23 番 伊賀 多朗
25 番 五十嵐 昇
27 番 安西 益男

2 番 田沢 勝信
4 番 日下 君敏
6 番 生稻 隆
8 番 小宮 利夫
10 番 横溝 功
12 番 石井 謀
14 番 伊藤幸太郎
16 番 松下 正己
20 番 石井 武敏
22 番 林 豊
24 番 流山源次郎
26 番 石井 正
28 番 安澤 徳順

1 欠席議員 1名

19 番 黒川 平治

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 川畑喜代志
経済部長 吉岡 政雄
教育委員会会長 杉村 芳枝
教育委員会委員長 加藤 利
選挙管理委員会委員長 橋本 巖利
監査事務局長 池田 六郎
農業委員会会長 池田 六郎
農事務局長

助 役 小倉 澄男
市長公室長 斉藤 武男
民生部長 鈴木 力
水道課長 石井 敏夫
教育委員会会長 福原 修
教育委員会委員長 佐藤 輝雄
選挙管理委員会事務局書記長 斎藤 明
農業委員会会長

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第5号)

昭和60年9月27日午前10時開議

- 日程第 1 議案第 4 0 号 財産の取得について
- 日程第 2 { 議案第 3 9 号 字の区域及び名称の変更について
議案第 4 1 号 財産の取得について
議案第 4 7 号 昭和 6 0 年度館山市一般会計補正予算 (第 1 号)
- 日程第 3 { 議案第 4 2 号 館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 4 3 号 館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 4 4 号 老人家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 4 5 号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 4 8 号 昭和 6 0 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)
議案第 4 9 号 昭和 6 0 年度館山市老人保健特別会計補正予算 (第 1 号)
- 日程第 4 議案第 4 6 号 公有水面埋立免許に関する答申について
- 日程第 5 { 認定第 1 号 昭和 5 9 年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第 2 号 昭和 5 9 年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 3 号 昭和 5 9 年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 4 号 昭和 5 9 年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 5 号 昭和 5 9 年度館山市ユースホテル特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 6 号 昭和 5 9 年度館山市学童災害共済事業特別会

計歳入歳出決算の認定について

認定第 7 号 昭和 59 年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について

認定第 8 号 昭和 59 年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

日程第 6 議案第 50 号 昭和 60 年度館山市一般会計補正予算（第 2 号）

日程第 7 議案第 51 号 館山市教育委員会委員の任命について

日程第 8 議案第 52 号 館山市監査委員の選任について

開 議 午前 10 時 15 分

○議長（流山源次郎君） 本日の出席議員数 25 名、これより第 3 回市議会定例会第 5 日目の会議を開きます。

議案の配付

○議長（流山源次郎君） 議案を配付いたさせます。議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第 1、議案第 40 号財産の取得についてを議題といたします。

地方自治法第 117 条の規定により、川名正二君の退席を求めます。

（5 番議員川名正二君退場）

総務委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました議案第 40 号は、9 月 18 日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。よって、これより本議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長山中金治郎君。御登壇願います。

(総務委員会委員長山中金治郎君登壇)

○総務委員会委員長(山中金治郎君) ただいま議題となりました議案第40号に係る総務委員会におきます審議の経過並びに結果について御報告いたします。

本総務委員会は、9月20日招集、全委員出席いたし開会いたしました。が、委員川名正二君は委員会条例第12条の規定により退席、審査には加わりませんでした。以下、慎重に審議されたその概要につきまして整理いたしまして申し上げます。

財産の取得の必要性についての質疑がありましたが、当局から、消費者ニーズの変化、車社会の急激な変化に伴って現在の商店街が非常に悪い環境にあるということで、地元商店街が近代化事業を進めようとしている、それに供するための先行取得であるという答弁がありました。

また、銀座商店街振興組合からの申し出はいつあったのかという質疑に対し、59年7月に申し出があった旨の答弁がありました。

議案第41号については、当初予算で土木費に計上してあるが、本件については商工費である、その理由についての質疑がありましたが、議案第41号については駅周辺市街地整備事業の仮店舗、仮営業所等の利用に供するために必要な物件という考え方から土木費に計上した、本件については駅周辺整備事業に加えてモデル商店街事業の推進に供するために必要な物件という考え方から商工費に計上した旨の答弁がありました。

また、当初予算でなぜ組めなかったかという質疑に対し、権利関係が間に合わなかったという答弁がありました。

館山市の開発公社は競売に参加できるのかという質疑に対し、私人という資格の中で参加できるという答弁がありました。

また、組合の落札価格は幾らであったのかという質疑に対し、7950万円という旨の答弁がありました。

また、この土地を含めての取得価格が約2000万円落札価格よりふえているがその理由をたどしましたところ、7950万円の落札金額については組合は借入金で賄っておるのでその利息、その他の登録免許税、不動産取得税、固定資産税、弁護士料、また原形に復する工事費、備品の買取料、その他火災保険料等を含めてこの提案している金額になった、これは

商店街が利益を得たということではないという答弁がありました。

市が取得する際に第三者を介入させないという発言が以前の本会議にあったがどうかという質疑に対しまして、いわゆる業者を入れないということで申し上げたつもりであるという答弁がありました。

また、初めから市が行った方がよかったのではないかとこの質疑に対しまして、権利関係が複雑であったのでその解決は組合で行うのが最良の方法と考えた、また今までの実例から公共団体が入ると非常に金額が上がる、さらに振興組合の意欲の表われであるということから組合にお願いした旨の答弁がありました。

以上、付託を受けました議案は討論なく、原案どおり可決すべきものと決しました。

ここに総務委員会の審査並びに結果について御報告を申し上げます。満場の御賛同を賜りたくお願いを申し上げます。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑はありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

（５番議員川名正二君入場）

議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第２、議案第３９号、議案第４１号及び議案第４７号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君）　ただいま議題となりました各議案はともに9月18日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長山中金治郎君。御登壇願います。

（総務委員会委員長山中金治郎君登壇）

○総務委員会委員長（山中金治郎君）　ただいま議題となりました議案第39号、第41号、第47号に係る総務委員会におきます審議の経過並びに結果について御報告いたします。

本総務委員会は、9月20日招集、全員出席の上、慎重に審議を重ねました。以下その概要について整理いたしまして申し上げます。

議案第39号字の区域及び名称の変更につきましては、質疑なく終了しました。

議案第41号財産の取得についてにつきましては、建物の形状について質疑がありましたが、出入口は2カ所あり、東側間口が5.5m、西側間口が1.5m、奥行は2.3m、階段は幅が2mである旨の答弁がありました。

また、このままの形状で使用するのかという質疑に対しまして、現在のところは改修する考えはないという答弁がございました。

議案第47号昭和60年度館山市一般会計補正予算第1号につきましては、ページ12の館野保育園フェンス取付工事請負費についての質疑がありましたが、当初予算で200万計上してあったが、春の嵐、大雨でさらに危険箇所が拡大したことにより工事費の不足分を生じたので今回補正をお願いした旨の答弁がありました。

また、ページ12の河川等浄化対策調査委託料についての説明を願いたい、また当初予算に計上することはできなかったのかという質疑に対しまして、館山市の主要な河川、排水路の現況を調査して重点調査対象流域を選定し、さらに自然条件、社会的な条件をも調査し、流域別の排水量の観測、水質の測定をし総合的な解析を行い、家庭雑排水の処理対策区域を選定し、処理方法を検討をしていただくものであるとの答弁がございました。

また、さらに当初単独処理の小型浄化槽のテストプラントを予定したが、

建設省の認可が出たので取りやめ、さらに検討した結果、共同処理方式か単独処理方式でいくのかという観点に立って全体の調査が必要であるということでも今回お願いをしたという答弁でございました。

また、ページ12の水質・ばい煙調査委託料についての質疑に対しまして、エヌ・エム・ビー・セミコンダクターとの公害防止協定第4条、公害防止計画により企業者が自主的に観測することになっているが、市としても別途水質、ばい煙等について測定をしようとするものであるとの答弁がございました。

また、ページ12の安房と畜場施設改善事業補助金についての質疑がありました。3月18日千葉県南総食肉衛生検査所から改善勧告がなされたことに伴っての改善である、総額1140万であり、そのうち15.1%の補助である旨の答弁がありました。

ページ13の市街地整備用地等購入費についての単価の質疑がございましたが、館山市銀座商店街振興組合所有の土地は平米単価24万3999円、吉田氏所有の土地の平米単価は18万2402円である旨の答弁がございました。

さらに、土地公示価格と路線価格はどうなっているかという質疑に対しまして、地下公示価格は平米単価21万6000円、路線方式による価格は振興組合所有の土地については県道沿いの11万3000円、市道沿いが9万8000円、吉田氏所有の土地については11万3000円の答弁がございました。

ページ14の造形作品製作委託料についての質疑がございましたが、彫刻の径と同じ題材をもってその代表的な彫刻をつくることを考えている、モニュメントの高さは地上6m、石の柱で、その上に動く彫刻を予定しているという答弁がございました。

ページ14の船形小学校講堂の防音改築工事地質調査委託料について、以前にも同様の調査を行ったではないのかという質疑がございましたが、校舎の裏側を今回は予定をしている、この場所については地質調査は過去行ってはいないという御答弁がありました。

また、船形小学校講堂の防音改築工事設計委託料について、外来者が使用できる外から使えるような便所は考えられないかという質疑に対しまし

て、できればそうしたいという意向はあるが、管理や景観の問題、構造上の問題等があって現在検討中であるという答弁がございました。

また、ページ15のボイラー修繕工事請負費についての説明を求めましたが、当初予算にも計上したが、4月に市民センターの揚水ポンプが突発的に故障したためこの修繕工事費から流用したことに伴っての補正である旨の答弁がございました。

以上、付託を受けました議案はいずれも討論なく、原案どおり可決すべきものと決しました。

ここに総務委員会の審査の経過及び結果について御報告を申し上げます。満場の御賛同を賜りたくお願いを申し上げます。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（流山源次郎君） これより議案第39号、議案第41号及び議案第47号の各議案を一括して採決いたします。

議案第39号、議案第41号及び議案第47号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議案第39号、議案第41号及び議案第47号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第3、議案第42号乃至議案第45号、議案第48号及び議案第49号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君）　ただいま議題となりました各議案はともに9月18日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長松下正己君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長松下正己君登壇）

○文教民生委員会委員長（松下正己君）　去る18日開会の本会議におきまして本文教民生委員会に付託されました一般議案4件、補正予算2件について、20日委員会を招集し、全委員出席のもと慎重に内容審査を行いました。

以下、委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

議案第42号館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第45号館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第48号昭和60年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、議案第49号昭和60年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）の4議案について全員一致をもって、議案第43号館山市身体障害者家庭率社員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第44号老人家庭率社員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についての2議案については賛成多数をもって、それぞれ原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、審査の過程における主なる事項について申し上げます。

議案第43号につきましては、階層区分を細かく設けていく意味と実際に所得が少ないところについてあまり細かくすることに実務上の問題はないのかどうかを説明を求めました。より負担の均衡を図るものと考えており、ふえるのは2段階であり事務量には影響はないと説明がありました。

さらに、利用の実態から見てどのような影響があるかを聞きましたところ、現在7名が対象となっており、B階層の5人については変わりはないがD階層の2人がF階層となると説明がありました。

次に、前年度所得があったが当年度において全く所得のなくなった場合の対応について考えがあるかどうかを聞きましたところ、現在までそのようなケースはないが、あくまでも前年度所得税額を対象として行わざるを得ないと説明がありました。

そこで、委員より、そう大きな所得水準の問題でなく、したがって区分を細かく設けていく方向が示されたということについて原則的に問題がある、さらに利用の実態から現実的に値上げとなる人もおり、こうした施策は福祉施策として進めるべきであるとの反対意見がありました。

次に、議案第44号につきましては、現在の対象者数と各階層ごとの人数について説明を求めましたところ、対象者現在31人でA階層7人、B階層19人、これは改正後も変わらず、現行C階層1人、D階層4人が改正後C階層1人、D階層1人、F階層3人となると説明がありました。

そこで、委員より、議案第43号と制度的に同じ内容で行おうとするものであるとの理由により反対意見がありました。

次に、議案第45号については、正木処理場にいまだに悪臭があるといわれておるが、現在もなお使用されておるのかどうかを聞きただしたところ、側溝清掃の際、水捨て場に使っているので一部汚泥が出ることもあるが、大半のものは最終処分場で処理されており、そのようなことはないとの答弁がありました。

さらに、浄化槽の保守点検については、資格が必要かと説明を求めましたところ、県条例に基づく資格が必要であると説明がありました。

次に、議案第48号については、退職者の医療制度の創設に伴って政府の見込み違いにより国保財政に大きな負担増をもたらしていることについてどう考えているか、今後の見通しについて市長に答弁を求めましたところ、退職者医療制度創設は現在国保税に大きな負担を負わせている、厚生省によると59年度、60年度あわせて2080億となっており、各自治体への補てんの見通しについては要望しているところであるが、大変厳しい状況であると理解している、いずれにしても今後こういうような問題が起こらないように各自治体総力を挙げて政府に要望していきたいと前向きな答弁がありました。

そこで、さらに過年度療養給付費交付金返還金2219万9000円に

について説明を求めましたところ、退職者医療制度により退職者に係る医療費から退職者に係る国保税を差し引いた残りが療養給付費交付金として被用者保険から交付されており、59年度については国の指示に従い医療費、国保税等見込んだが、本市においては国保税が見込み以上に収入されたことにより精算し返還するものであると説明がありました。

次に、議案第49号については、歳出一般会計繰出金3055万1000円の減額と歳入医療費負担金の減額について説明を求めましたところ、59年度決算において不足を生ずるということで一般会計より繰り入れを予定し、60年度当初予算歳入において不足分に対する交付金、負担金の精算額を、歳出において一般会計への繰出金を計上したが、59年度決算において不足を生じなかったことによりそれぞれ減額補正をしたとの説明がなされました。

以上、付託されました議案6件について本委員会における審査の概要を申し上げましたが、満場の皆さまの御賛同を賜りますようお願い申し上げ、文教民生委員会委員長報告といたします。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第42号館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議案第42号は原案どおり可決されました。

次いで、議案第43号及び議案第44号の各議案を一括して起立により採決いたします。

議案第43号及び議案第44号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(流山源次郎君) 起立多数であります。よって、議案第43号及び議案第44号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

次いで、議案第45号、議案第48号及び議案第49号の各議案を一括して採決いたします。

議案第45号、議案第48号及び議案第49号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、議案第45号、議案第48号及び議案第49号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

○議長(流山源次郎君) 日程第4、議案第46号公有水面埋立免許に関する答申についてを議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

○議長(流山源次郎君) ただいま議題となりました議案第46号は9月18日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより本議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長日下君敏君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長日下君敏君登壇)

○建設経済委員会委員長(日下君敏君) 今次、定例会において建設経済

常任委員会に付託されました案件は、第46号議案公有水面埋立免許に関する答申についての1件だけではありますが、その審議の経過並びに結果の概要を御報告申し上げます。

本委員会は、去る21日午前10時から9委員中7委員が出席し、市庁舎内会議室において開催いたしました。

本議案は、公有水面の埋立免許権者であります千葉県知事沼田武君が公有水面埋立法第3条1項の規定により館山市長の意見を聞きたいとするもので、市長は本議会の議決を要するために提案した議案であります。

埋め立てようとする公有水面は、館山市船形字新港1451番地先、すなわち県館山高等技術専門学校地先の海面9121.09㎡であります。

まず、埋立用地の用途及び面積についての補足説明を求めましたところ、護岸は根岸の防波堤であり、船揚場は外来船が入港すると船形の既設港が混雑を来たすので、小さい船を収容するために計画したもので、用地内にある160mの道路は船揚場の出入りのために新設し、その道路の上が水産倉庫用地等になっている旨の説明がありました。

また、昭和65年3月31日までの今後の事業計画についての説明を求めましたところ、県は来年度に工事着工し、導流堤事業を含め64年度内完工とのことであります。

なお、港の新設に要する砂、港の利用者、市内の水産加工業者数、漁獲魚の需要の拡大、水道の使用水量の増加などについての質問に対し、1、しゅんせつした砂をもって埋め立てる、1、利用者は地元船だけである、1、水産加工業者は14ないし15軒、1、需要の拡大は入札者数をふやし漁獲した魚の消費拡大を期したい、1、水道使用水量は掌握していない等々の答弁を得ました。

以上、慎重審議の結果、本委員会に付託されました第46号議案は、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

これをもちまして、建設経済常任委員会の経過並びに結果の概要についての委員長報告といたします。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。
——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

継続審査について

○議長（流山源次郎君） この際、申し上げます。

総務委員会において審査中の請願第4号快速列車の実現を求める請願書について委員長から会議規則第75条の規定により閉会中の継続審査とされたい旨の申し出がありました。

お諮りいたします。請願第4号を委員長からの申し出のとおり閉会中の継続審査といたしますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第5、認定第1号乃至認定第8号昭和59年度館山市一般会計及び特別会計決算を一括して議題といたします。

決算審査特別委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました各会計決算はともに去る9月19日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより本決算に対する決算審査特別委員会における審査の経

過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長伊賀多朗君。御登壇願います。

(決算審査特別委員会委員長伊賀多朗君登壇)

◎決算審査特別委員会委員長(伊賀多朗君) 認定第1号乃至認定第8号昭和59年度館山市一般会計及び特別会計決算に係る決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につきまして御報告申し上げます。

去る19日の本会議におきまして本委員会に付託されました各決算につきまして、24日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

審査にあたっては、提出された説明資料に基づいて市当局の考えをただし、あるいは処理状況の報告を求め、さらに今後改善すべき点、検討を要する事項を指摘、要望しつつ、審査を行った次第であります。

以下、委員会におきます質疑応答等整理いたしまして、論議されました主なる点につきまして御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。

第2款総務費の文書広報費中、印刷製本費878万円余が支出されておりますが、これについては館山市広報に係るものであるとの説明を受けましたが、さらに全国在住の館山市出身者に対して県人会等通じて広報の配布をできないか、また広報への広告の掲載についてどのように考えているか説明を求めましたところ、本市出身者への広報配布については検討したことがあるが、対象者の把握が難しいこと、郵送料も相当かかるということで実施しなかった、また、広告掲載については全国的に掲載しているところはなく、業種によっては適当でないものもあるので実施しなかったとの説明がありました。

次に、行政事務委託料において7万7330円の不用額が生じた理由と委託料の交付時期について説明を求めましたところ、160町内会に委託しているもので、世帯数等の異動により不用額を生じた、また交付時期については北条、館山、那古、船形は毎月交付、富崎地区は年2回、その他は年1回交付しているとの説明がありました。

また、町内会によっては、暦年制で運営しているところもあるので、12月ごろに委託料を交付することはできないかとの意見に対しまして、委託契約に基づくもので、委託行為が完了しないと交付することはできない

が、要望があれば12月分までを一括して交付する方法について検討してみるとの説明がありました。

さらに、関連して19節の館山市町内会連絡協議会補助金についても説明を求めましたところ、自治活動を行っているところの町内会に対して、自治振興費という考え方で補助金として交付しているものであるとの説明がありました。

次に、財産管理費中、市庁舎清掃等委託料820万8000円が支出されておりますが、この内訳について説明を求めましたところ、清掃業務412万8000円、電話交換業務408万円であるとの説明がありました。が、市役所の電話がなかなか通じにくいとの苦情もあるので、今後検討されるよう要望いたしました。

次に、防災行政無線設置に伴っての各調査委託料が支出されていますが、防災行政無線の適正配置についての検討がなされているか説明を求めましたところ、防災行政無線の設置、運用に関しては、コンサルタントに委託をして6項目にわたる調査を実施しているが、その中で館山市の場合、地震に伴う津波災害が最も重要な課題とされており、海岸線における子局の配置を綿密にするとともに、さらに危険区域から安全区域への非難する際にも情報を提供できるよう子局を設置するとの説明がありました。

なお、非常に期待される事業であるので、市民の生命、財産を守るために早期に完成されるよう要望いたしました。

次に、交通安全対策費中、交通指導員報酬301万9800円が支出されていますが、この内容について説明を求めましたところ、交通安全協会の指導員は102名で、このうち市は34名の指導員を委嘱している。登校指導、安全施設の整備の点検等を依頼しており、延べ719人の出勤があり、1回4200円を報酬として支出しているとの説明がありました。

次に、各種負担金、補助金等の支出についても、支出先、支出目的等について詳細な説明を求めました。その中で、行財政改革の推進等厳しい状況にあるので、負担金、補助金の支出にあたっては効果等十分検討されたいとの意見がありました。

次に、第3款民生費であります。身体障害者日常生活用具給付扶助費44万8900円が支出されておりますが、この内容について、また盲人用

体温計を給付できないか尋ねましたところ、59年度盲人用テープレコーダー1、特殊寝台4、浴槽1、特殊マット3、湯沸かし器1の給付を行ったもので、盲人用体温計については給付品目の中に含まれているとの説明がありました。

次に、身体障害者手帳交付診断料助成費2万1000円が支出されていますが、この内容について説明を求めるとともに、申請から交付までかなりの期間がかかるといわれておるので、速やかに交付できないか市の対処方について説明を求めましたところ、59年度8名に対して助成したもので、手帳の交付については市では1週間以内に県に送付しているところであるが、県の判定までにかかなりの時間がかかっており、督促もしているとの説明がありました。

次に、第4款衛生費であります。館山市環境保全公社補助金351万円が支出されていますが、これが当初予算に計上しなかった理由について説明を求めましたところ、本補助金については、環境保全公社の赤字分を補てんするということになっており、決算見込みが出ないと補助できないことから補正で措置したとの説明がありました。

次に、第5款労働費であります。勤労者厚生対策預託金500万円が支出されていますが、59年度の貸出実績並びに勤労者に有利な制度として活用されているか説明を求めましたところ、59年度実績、生活資金貸付266件、金額2億8554万円、住宅資金貸付25件、1億4690万円、合計291件、4億3244万円であり、利用件数から見て効果を挙げているものと考えているとの説明がありました。

次に、第6款農林水産業費であります。館山市豊房育成牧場業務管理委託料が支出されていますが、管理業務委託の効果について、さらに牛舎等関連施設の改良等が実施されているが、委託後も施設の改良は市で行うのか説明を求めましたところ、58年10月から畜協に委託し、牛1頭につき月1万5000円、人件費相当分として市の平均給与1.5人分を委託料として交付しているもので、現在100頭が預託されている。従前市の持ち出し分は平均して年間1500万円から1700万円となっていたが、現在は約800万円で経費的には約半額となっている。なお、施設の改造については委託に際して条件となっていたものであるとの説明がありまし

た。

次に、松くい虫防除委託料、松くい虫防除特別対策事業補助金が支出されておりますが、この内容について説明を求めましたところ、委託料については砂山付近8畝に対する空中防除と西岬から那古にわたる松林の地上防除を委託したもので、特別対策事業については館山カントリークラブ4畝、房州カントリークラブ5畝に対する補助金であるとの説明がありましたが、薬剤散布による野鳥等への影響も考えられるので、今後、防除にあたっては十分注意すべきではないかとの指摘がなされました。

次に、漁港建設費中、3漁港の局部改良工事が実施されたが、不用額が出ていないことについて、予算額どおりで入札が行われたのか説明を求めましたところ、局部改良事業については、通常2年継続で実施され、工事施行にあたっては国から枠が示される。入札により残額を生じた場合は、翌年度分を前倒しして事業量をふやして実施することになるので、結果的に予算額と一致することになるとの説明がありました。

次に、第7款商工費であります。平砂浦自然環境保全用地購入費804万2000円が支出されておりますが、この内容について、さらにグリーン開発から返還された土地の利用はどうなっているのか説明を求めましたところ、平砂浦自然環境保全用地購入費については、県との覚え書きの締結によりフラワーラインから海側の山林、原野等を保全地域として確保するもので、今回633㎡を購入したものであるとの説明がありました。さらに、グリーン開発から返還された土地については、日本サンランド株式会社に売却を予定しており、現在、会社が県に開発許可の申請をしているところで、許可が下り次第工事に着手する予定で、内容としてはホテルとスカッシュ、海洋レジャーの2つの機能を持ったものであるとの説明がありました。

次に、第8款土木費であります。住宅費に関連して、市営住宅の入居者で、特に身障者等について、住み替えの希望がある場合に対応できないか、市の考え方を伺いましたところ、身障者であるとか、勤務先の関係であるとか、通学の問題等いろいろの場合があるが、現実に移動させており、今後とも同様に行っていくとの説明がありました。

さらに、市営住宅に空きが出た場合、当市ではある程度まとまった時点

で募集し、入居させているが、順番制を採用し、直ちに入居させることはできないかとの指摘に対しまして、県では順番制を採用しているが、当市では3戸程度の空きが出ると募集を行い、入居選考委員会を開催して決定しており、その都度、その都度困っている方が出てくるので、現在の選考委員会制度を採用しているとの考えが示されました。

次に、第10款教育費であります。社会教育費において造形作品を購入し公共施設に設置しているが、59年度はどこに設置したのか、また今後も続けて実施していく考えであるのか説明を求めましたところ、59年度は房南中、館山小、北条小に設置したもので、60年度は一中、富崎小を予定しており、これによって未設置の学校は館野小、豊房小、神余小の3校である。今後も引き続き設置をしたいとの説明がありました。

次に、歳入であります。第1款市税につきましては各税目にわたり不納欠損額、収入未済額等について詳細に説明を求めました。さらに、市税は市財政の中核をなすものであり、今後徴収に一段の努力をされるよう要望いたしました。

次に、第8款分担金及び負担金中、児童福祉施設負担金が収入されていますが、これに関連して、私立保育園の実情について市は十分把握しているか説明を求めましたところ、年1回程度しか見ていないので、細かいところまで把握していないとの説明がありました。そこで、公立保育園のない地域では私立保育園に措置されることになるし、重要な施設であるので、市が助成する等、特段の配慮をされるよう要望いたしました。

次に、第16款諸収入の中でマラソン大会参加料484万円が収入されておりますが、59年度の実績並びに60年度の見通しについて説明を求めましたところ、参加料については1人2000円で2420人分であり、60年度については8月に要綱を発送したが、10月、フルマラソンあわせて2500人を予定して予算計上をしているとの説明がありました。

さらに、若潮マラソンの意義についてどう考えているか説明を求めましたところ、若潮マラソン実施については、市民のスポーツ振興の意味もあるが、観光振興とともに館山のイメージアップを期待して実施しているものであるとの説明がありました。

以上、決算審査特別委員会におきます審査の概要を御報告申し上げます。

たが、今後市当局においては市政の刷新と市民福祉の向上に一段の努力を傾注されるよう要望いたしました。

付託を受けました認定第1号乃至認定第8号の昭和59年度館山市一般会計並びに特別会計決算については全員一致をもっていずれも認定すべきものと決しました。

以上で決算審査特別委員会委員長報告を終わります。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

○議長（流山源次郎君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

1番議員神田守隆君。御登壇願います。

（1番議員神田守隆君登壇）

○1番（神田守隆君） 認定第1号昭和59年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について及び認定第2号昭和59年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、それぞれ反対の討論をいたします。

まず、一般会計決算についてであります。

昭和59年度の市税総額41億300万余円は、対前年比4.9%増となっていますが、市民の重税感には耐えがたいものがあります。本年度の市税徴収率の減少はそのことを端的に示していると思います。

こうした中であって幼稚園の保育料、し尿汲み取り料、市営住宅家賃など公共料金が値上げされ、市民生活の安定を脅かす市民への負担増がもたらされました。市民生活の安定こそ市政第一の課題でなければなりません。

次に、地方交付税は前年度比で9751万円も減額となりました。基準財政収入額の伸びが6%と過大に評価されたためであります。地方交付税を削減抑制し、軍備拡大を進める中曾根政治は地方自治体の財源を脅かす最大の問題となっています。今また国庫補助金等の一律カットを継続実施する動きがありますが、絶対に許されるべきではありません。

以上の点を主張し、反対討論といたします。

次に、国保会計決算の認定に反対の討論を行います。

国民健康保険税は、すでに負担の限界を越えているとこれまでも繰り返して指摘してきたところでありますが、59年度は退職者医療の創設により国庫負担率が大幅に引き下げられ、市民の負担はいよいよ深刻となりました。政府は退職者医療制度創設に伴う国庫負担率の引き下げは地方自治体に負担増をもたらすことはないと言明していました。この間に生じた地方自治体の負担増、政府の試算による2080億円を速やかに補てんするとともに当面国庫負担率を元に戻すよう主張し、反対の討論といたします。

◎議長（流山源次郎君） 以上で1番議員君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、認定第1号一般会計決算について起立により採決いたします。

認定第1号についての委員長の報告は認定すべきであるとするものであります。

認定第1号を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、認定第1号一般会計決算は認定することに決しました。

次いで、認定第2号国民健康保険特別会計決算について起立により採決いたします。

認定第2号についての委員長の報告は認定すべきものであるとするものであります。

認定第2号を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、認定第2号国民

健康保険特別会計決算は認定することに決しました。

次いで、認定第3号乃至認定第8号の各特別会計決算について一括して採決いたします。

認定第3号乃至認定第8号についての委員長の報告は認定すべきものであるとするものであります。

認定第3号乃至認定第8号を委員長の報告どおり認定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、認定第3号乃至認定第8号各特別会計決算はいずれも認定することに決しました。

議案の上程

○議長(流山源次郎君) 日程第6、議案第50号昭和60年度館山市一般会計補正予算第2号を議題といたします。

議案の内容説明

○議長(流山源次郎君) 議案の説明を求めます。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 議案第50号昭和60年度館山市一般会計補正予算第2号について提案理由の御説明を申し上げます。

千葉海区漁業調整委員会委員1名の死亡に伴う補欠選挙が漁業法第93条第2項の規定により本年10月25日執行となりましたので、この執行経費につきまして全額県支出金を財源として見込み、72万3000円を追加する補正予算をお願いするものでございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長(流山源次郎君) 説明は終わりました。

御質疑を願います。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

○議長(流山源次郎君) お諮りいたします。

本案については委員会付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

採 決

◎議長(流山源次郎君) これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(流山源次郎君) 日程第7、議案第51号館山市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

議案の内容説明

◎議長(流山源次郎君) 議案の説明を求めます。

(市長半澤良一君登壇)

◎市長(半澤良一君) 議案第51号館山市教育委員会委員の任命について提案理由の説明を申し上げます。

館山市教育委員会委員中、山口武重君が昭和60年9月30日をもって任期が満了いたしますので、後任といたしまして人格、識見ともにすぐれている山田教和君が適任と考え任命いたしたく存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長(流山源次郎君) 説明は終わりました。

御質疑を願います。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本案については委員会付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

採 決

◎議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、教育委員会委員の任命について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

議案の上程

◎議長（流山源次郎君） 日程第8、議案第52号館山市監査委員の選任についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

議案の内容説明

◎議長（流山源次郎君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 議案第52号館山市監査委員の選任について提案理由の御説明を申し上げます。

本市の監査委員中、知識経験を有する者から選任をいたします委員であります鈴木重司君が昭和60年10月1日をもって任期が満了となりますが、最適任者でございます同君を引き続き選任いたしたく存じますので、

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（流山源次郎君） 説明は終わりました。

御質疑を願います。御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。
よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本案については委員会付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

監査委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、監査委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

閉 会 午前 11 時 19 分

○議長（流山源次郎君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第 3 回市議会定例会を閉会いたします。

○本日の会議に付した事件

- 1 議案第 39 号乃至議案第 52 号
- 1 認定第 1 号乃至認定第 8 号
- 1 継続審査について（請願第 4 号）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長 流 山 源 次 郎

館山市議会議員 田 沢 勝 信

館山市議会議員 安 西 益 男

